

## 快適な道路に果たす緑の役割

### 第3回 「紅葉が楽しめる道路空間の維持管理」

兵庫県立大学大学院 准教授 /  
兵庫県立淡路景観園芸学校 主任景観園芸専門員 大藪 崇司

朝夕めっきり寒くなり、1日の寒暖差が大きくなってきました。秋から日照時間が短くなり、冬が近づくと落葉樹の葉は、紅や黄に彩られます(写真1)。これは太陽からの光が減るとともに、低温のため葉が不活性となることに起因します。日照や温度が光合成に適さないと樹木が感知すると、光合成を行う器官である葉緑素の色素を自ら分解し、回収できる養分を幹や枝に送り蓄えます。



写真1 - 街路樹の紅葉

その際、葉内で色濃くなるのが赤色から紫色を示すアントシアニン、黄色から橙色を示すカロテノイドです。さらに光合成ができない葉を着けたままにしておくと、表面積の大きな葉から水分が蒸発してしまい枯れる原因となります。よって樹木は、枝と葉の間に離層を形成した上で老廃物として葉を切り離します。そして、翌春、日照が回復するまでじっと待ち、回収した養分を使って新芽を吹かせます。

春の新緑、夏の日射遮蔽効果、秋の紅葉と、道路空間での街路樹の役割について書いてきましたが、

この冬期に発生する大量の落ち葉については、沿道住民や街路樹を管理する行政団体を悩ませています。常に歩道を掃除する人員を配置すれば問題は軽減されるのですが、なかなかそうはいきません。この対策として、多くの行政団体では落葉前に剪定を実施してきました。しかし、剪定をしまうと、紅葉が楽しめなくなります。

そこで京都市では、街路樹の二段階剪定という新たな取組みを始めています。これは10月に自然な樹形となる枝を1/3程度残して剪定を行い、沿道住民の落葉掃きの負担を軽減させつつ紅葉を楽しみ、葉が落ちた翌年1月に再び枝を整える剪定を施すという試みです(写真2)。



写真2 - 京都市の二段階剪定(左側:剪定前、右側:剪定後)

この事業では剪定予算がおよそ1.5倍になったそうですが、沿道住民や観光客への紅葉の提供と良好な街路樹育成の両立を図れるため、市をあげて行われています。このような取組みが兵庫県下の一部区域でも実施されれば良好な紅葉景観のモデルケースになると思います。

## 花緑団体の紹介

# 祝！第26回全国花のまちづくりコンクール大賞・優秀賞受賞

今年度の、全国花のまちづくりコンクールに、兵庫県から受賞された方々をご紹介します。

### 国土交通大臣賞

熊谷 哲・恵子（姫路市）《個人部門》



オープンガーデンでの里山コンサート

#### 「全国花のまちづくりコンクール」とは

提唱：農林水産省及び国土交通省 1991年より

目的：国際花と緑の博覧会（花の万博・1990年・大阪市）の基本理念「自然と人間との共生」を継承して花のまちづくりを国民的な市民運動として普及、定着させること。

内容：全国各地で取り組まれている花や緑による優秀な活動を顕彰し、広く紹介する。

4部門（市町村部門、団体部門、個人部門、企業部門）で行われている。

#### 【設立の経緯】

18年前に山を背にした現在の地に転居し、更地からの庭作り（土作り）を始め、10年前よりオープンガーデンに参加しました。その頃イノシシを見かける機会があり、里山整備の必要性を感じました。

#### 【主な活動】

・長年放置され密林となっていた裏山の一部を購入し、投棄されたゴミを回収して、ヒサカキやササを刈り取り、散策路を作って、路沿いにツバキ、アジサイ、モミジなどを植えました。地元自治会や団体の協力も得て散策路を新設しました。地元小学校まで通じる路も作られ、自然観察の授業に使われたり、地域の方のウォーキングに利用されたりしています。

・農業はひかえ、生ごみや剪定くずや雑草は堆肥化し、雨水利用システムを作り、環境にやさしい庭作りを心がけています

・オープンガーデン、自然観察会、里山コンサート、里山まつり、子どもの冒険広場（自然体験と遊びの場）、学習会等を開催しています。

・大学生は里山で地域の小学生と交流しながら、環境教育の実践を行い、またツリーハウスや遊具等の作成も若い子供達に喜ばれています。

里山を再生することで、訪れた人々に自然を肌で感じられる安らぎの場を、学生には学びを、子供達には、自然の良さ、おもしろさを体験できる場を提供できました。

#### 【大賞受賞と今後の課題】

オープンガーデンを通して、多くの方々との交流を深め、花づくりまちづくりの輪が広がっています。このたびの受賞を機に、自然と共生したオープンガーデンの楽しみをさらに広め、仲間を増やしていきたいと思えます。



荒れ地からよみがえった散策路



里山まつりでのリース作り

**花のまちづくり優秀賞 推進協議会長賞****キッピーグリーンクラブ（三田市）****【設立の経緯】**

「三田市の道路や空き地を花と緑で飾ろう」をスローガンに、2005年（平成17年）、キッピーグリーンクラブを結成し活動を開始しました。

**【主な活動】**

三田駅前を中心に、3つの沿道 1.9km の沿道と街路樹柵、4つの広場の花壇で、メンバー15人が植栽活動を地道に続けています。小さな点が線になり面に広がり、流した汗の分だけまちがきれいになり、そこに感動が生まれ、仲間の絆も一層強まります。皆さんに感動していただくことが、明日へのエネルギー源です。

**【今後の課題】**

今日までに、同コンクールでの大賞（国土交通大臣賞）1回、他コンクールでも大賞を含め多く受賞させていただきました。景観は社会的財産です。今後も仲間を募り、まちを美しく彩りたいと思います。



沿道の植栽活動



大通りに面した花壇

**花のまちづくり優秀賞 推進協議会長賞****中谷 邦子（豊岡市）****【設立の経緯】**

主人の定年を機に但馬に暮らし、ガーデニングにのめり込み14年。独学で苦勞しながらも、庭の木々や花たちと移りゆく季節と寄り添っています。

**【主な活動】**

10年間参加のとよおかオープンガーデンは28年度で終了しましたが、ここで知り得た多くの方々との交流は、宝物です。公民館、幼稚園などからの依頼で、園芸講師もしています。

**【今後の課題】**

花の活動を通じて知り得た但馬の多くの方々から頂いたサポートが、今回の受賞につながったものと感謝の気持ちでありがたく受賞させていただきます。特に幼稚園の親子で一鉢の花を咲かせる講習は、次世代につなげる希望の花づくりです。



但馬まるごと感動市での体験教室



オープンガーデン景観

**全国花のまちづくりコンクール」審査基準** 詳しくは「全国花のまちづくりコンクール」HPへ

項目	審査の観点
快適な生活環境づくり	地域の緑を大切に育みながら、街並みの景観を損ねる散乱ごみや屋外広告などを積極的に整理するように心がけて活動し、潤いと豊かさが感じられる快適な生活環境づくりや風景づくりがされているか。
エコロジー	環境にできるだけ負荷をかけないような活動や身近な自然を大切にした取り組みが行われているか。
花による表現	まちらしさ（地域性）の演出に花がうまくいかされているか。また、地域の歴史的・文化的資産が花のまちづくりにいかされているか。
花のデザイン	花や緑が周辺の風景や街並み、建物と調和し、花壇の花の配置や色使い、季節の演出などがセンスよくデザインされているか。
栽培状況	花殻や生ごみなどを土づくりにリサイクルしたり、農薬などをできるだけ使わないようにしたりして、環境に配慮した取り組みがされているか。また、花の生育特性を考慮して草花を植え、花や緑が健全に生育しているか。
活動状況	花のまちづくりにおいて、住民（企業を含む）と行政のパートナーシップ、住民同士の連携などが図られ、公共性の高い場所や地域に向けた場所での活動、オープンガーデンなどが実施され、それらが長続きし、発展するように取り組まれているか。
地域の活性化	活動によって地域の振興や活性化などにつながる波及効果が見られたか。



# 2016ひょうごまちなみガーデンショーin明石 開催報告

「花と緑で潤いあるヘルシーライフ」を開催テーマに9月24日～10月2日の9日間にわたり、明石公園を中心に明石のまちなみを花と緑で彩るガーデンショーが開催されました。

メインの「寄せ植え」、「ミニ寄せ植え」、「ハンギングバスケット・壁掛け、額縁型プランター」のガーデン部門、また写真部門の各部門で作品を競い合うガーデンコンペ・ひょうごをはじめ、県内農業系高校11校の出展によるアグリハイスクールガーデン、体験教室などで来場者に楽しんでいただきました。



## ガーデンコンペ各部門兵庫県知事賞の紹介

### ガーデン部門

今回の応募作品数は299点でした。各部門とも作品の質が年々向上していることが感じられます。その中で、コンペの各部門最高位となる兵庫県知事賞を受賞された作品をご紹介します。(敬称略)



テーマガーデン部門  
日本ハンギングバスケット協会兵庫県支部



寄せ植え 藤岡 美恵子



ミニ寄せ植え 一ノ瀬 瞳



ハンギング・壁掛け・額縁型プランター  
隠地 ういね

### 写真部門



コミュニティ・職域緑化  
すみよいカルチャータウンをつくる会



家庭緑化 熊谷 恵子



学園緑化 東古瀬こども園



明石フィルハーモニー管弦楽団さんの演奏

オープニングセレモニーは、明石駅コンコースにて開催され、実行委員長の開会挨拶と、モニュメントガーデンの除幕が行われました。

明石公園をメイン会場に、明石市立花と緑の学習園、明石市役所、明石市立天文科学館から中崎遊園地までの南北通りをサテライト会場として設けました。



サテライト会場の“刻の花壇”

左記の部門別ガーデンコンペだけでなく、来場者が気軽に参加できる体験イベント、ミニコンサートなども連日多く行われ賑わいました。また、飲食・物販にとどまらず潤いあるヘルシーライフ”に繋がる実にご多様なテナントが集い楽しませてくれました。



キッチンカーによる飲食店



キッズフラワーファッションショー

ガーデンコンペ出展者、体験教室を開催していただきました皆様、テナント出展者、開催を支えていただきました関係皆様、また、多数のボランティアの方々にご活躍いただきました。



パワーショベル体験



寄せ植えの体験教室

誠にありがとうございました。

最終日の”花と緑のまちづくりセミナー”では、料理研究家でひょうご「食」担当参与 白井 操 講師による「食べ物が教えてくれること」



白井 操 講師

続いて、兵庫県園芸療法士会会長 岡野 裕 講師より



「ひととみどりの力を活かす 園芸療法 -園芸で脳と体が健康になる-」の講演が行われました。



岡野 裕 講師



## グリーンメッセージ



# 全国花のまちづくりコンクールと兵庫県 その2

兵庫県参与 (花と緑のまちづくり推進担当)

(公財)兵庫県園芸・公園協会花と緑のまちづくりセンター長

石原 憲一郎

平成28年度第26回全国花のまちづくりコンクールで、姫路市在住の熊谷哲・恵子ご夫妻が、個人部門で国土交通大臣賞を受賞しました。本コンクールについては、平成26年1月発行のセンターだより27号にも記載しましたが、平成2年に開催された大阪花の国際博覧会における理念「自然と人の共生」を後世に継承していく事業の一つとして始まりました。筆者は、建設省(現国土交通省)在職時に、制度設計に関わった一人として26回目を迎えたことを喜びとするところです。

オープンガーデンを組み合わせ、次世代を担う若者からも環境教育を行うなど人材を育成し、多彩な活動に取り組み、より多くの人を巻き込みながら行っていることが非常に高く評価されました。



比嘉照夫コンクール審査委員長からの審査総評



花のまちづくり大賞 熊谷さん企画の里山での秋祭りの様子

兵庫県は、「花と緑のまちづくり」に非常に熱心との評価があり、本コンクールの最近5年間だけでも、3団体、1個人が大臣賞を受賞しています。また、入選者全体に占める兵庫県からの応募者は、毎年約20%を占めており全国有数の活動レベルを維持していることも特筆すべきことです。

近年、コンクールの審査も厳しくなっており、単に花壇のデザインが美しいとか、花のボリュームが凄いとかのレベルではなく、花と緑の持つ社会性を意識し、その力を発揮させるような活動、特に地域創生にどれだけ寄与しているかという視点が高くなっている気がしています。熊谷哲・恵子ご夫妻も、里山再生と

兵庫県下の活動団体も、地域の学校・福祉施設・企業・他のまちづくり団体等との連携を通して、活動内容に里山林再生や生物多様性の確保等環境重視、地域住民の健康維持重視、観光交流等まちおこし等地域創生重視などが生まれてきたのも近年の特徴です。

兵庫県の花と緑のまちづくりは、単なるまちのガーデニングに留まらず、花と緑が持つ可能性を最大限引き出すことを具現化し、さらに、その奥にある価値を追い求めて行かなければなりません。一方、県下の活動団体が抱えている活動構成員の減少と高齢化、財源の確保、活動拠点の確保と設備の充実など諸課題も多く存在し、行政や公益法人と一緒に解決していかなければなりません。花と緑を通して地域を輝かせることは、活動している自分自身も輝かせることに繋がっています。この喜びと感動をより多くの県民に分かってほしいと願うものです。

●●● 相談員ニュース ●●●

## 宿根バーベナを長く楽しむ

緑の相談所長 若松 康史

### 様々な種類があるバーベナ

バーベナはクマツヅラ科の一年草または多年草で、約200種からなり、その多くがアメリカ大陸を原産とします。一般的にバーベナと呼ばれているものは一年草として種子から育てる種類で、5枚の切れ込んだ花びらと色鮮やかな花色を持つことから、美女桜(ビジョザクラ)という和名があります。これに対し、宿根バーベナと呼ばれるものは直立性と横張性の草姿の異なる2つのタイプがあります。直立性のタイプはボナリエンス種やリギダ種(植物学上の和名では本種を指す)など、野生種の形質に近い品種が流通していますが、横張性のタイプは数種の野生種をもとに作られた交雑種が流通しています。特に横張性のタイプは生育が旺盛なことから大規模な植栽に導入され、品種改良が進んだ結果、一年草扱いのバーベナと同様に豊富な花色を持つようになりました。1990年代には、大阪で開催された『国際花と緑の博覧会』からの園芸ブームとも重なり、ペチュニアと共に人気のある草花品目になりました。

### もう一度見直したい宿根バーベナ

ところが、園芸ブームが一段落するとともに、次第に人気は衰えていきました。その大きな理由としては、ウドンコ病にかかりやすかったことが挙げられますが、最近はウドンコ病に強い品種も登場し始めており、高温・乾燥など厳しい環境においても生育開花する宿根バーベナの特性を生かした利用が再び見直されることでしょう。

### 育て方 きれいな姿で花を長く楽しむコツ

苗が流通し始める春に植えつけます。植え付け後は気温の上昇と長日条件のために盛んに開花しますが、梅雨時期になると、茎が間延びして株が乱れるばかりか、分枝した先につく花房が小さくなって見た目が貧弱になります。この時点で切り戻しと増し土を行います。切り戻すことで新たに発生する茎が充実して花房が大きくなり、増し土を行うことで新しい茎からの発根を促して株が若返ります。切り戻し後2-3週間で開花し始めます。この作業を繰り返すことで秋遅くまできれいな姿で花を楽しむことができます。



株型が乱れて花が少なくなった株



切り戻し・増し土を行った株



切り戻し・増し土を行って20日後の状態

公園名	イベント名	日時	イベント内容
<b>フラワーセンター</b> TEL 0790-47-1182	お正月特別開園 	1/2(月)～4(水) 9:00～16:00(入園は15:00まで)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お楽しみ抽選会</li> <li>・花クイズウォーキングラリー</li> <li>・おもしろ自転車に初乗り</li> <li>・おたのしみ「花の福箱」販売します</li> <li>・ふわふわ遊具で遊ぼう</li> </ul>
<b>舞子公園</b> TEL 078-785-5090  旧木下家住宅	舞子海上プロムナード 初日の出、正月営業 絵馬を書こう！ 旧木下家住宅青松庵 抹茶体験 ♪同時開催 二胡 ミニコンサート	1/1(日) 6:30～12:00(最終入館 11:30) 1/2(月)、3(火) 10:00～15:00(最終入館 14:30) 1/1(日)～1/22(日)まで ※1/10(火)休館日 1/14(土) 10:00～15:00 ♪11:00～11:30	海上47mから初日の出を見ることが 出来ます。 あなたの書いた絵馬カードが 「世界一長い吊り橋」に飾られます。 松の見える茶室で抹茶をいただきますか？ 参加費500円(入館料別、40名) ♪無料(入館料別) *旧木下家住宅 入館料大人100円
<b>赤穂海浜公園</b> <b>タテホわくわくランド</b> TEL 0791-45-0800	お正月タテホ 子どもわくわくフェスタ 2017	1/2(月)～4(水) 10:00～16:00 お菓子まき大会 12:00 餅まき大会 14:00	甘酒の無料振る舞い (1日100名) 縁日ハピネスカーニバル お菓子まき・餅まき大会 
<b>丹波並木道</b> <b>中央公園</b> TEL 079-594-0990	ぜんざいのふるまいと 凧づくり 	1/8(日) 11:30～14:00	かやぶき民家にて、公園で収穫した赤米を 使った、餅入りぜんざいのふるまい(無料、先 着50名)、凧づくり(参加費200円、申込 不要)があります。
<b>国営明石</b> <b>海峡公園</b> TEL 0799-72-2000	あわジオ フェスティバル2016 	12/10(土)～1/15(日) 10:00～16:00	ビジター棟では、恐竜の化石のレプリカ展示 や、恐竜の木エクラフト、化石のレプリカづく りなどの、体験イベントがたくさんあります。 また、芝生広場では、36m×36mのユニ バーサル巨大迷路が登場！

### 平成28年度 園芸教室(1月～3月)

場所：明石公園花と緑のまちづくりセンター研修室

実施日	タイトル	講師名	開催時間	参加費【円】	申込開始日
1月8日 日	明石公園の自然観察⑩(雨天決行)	兼光たか子	10:00～	100	12/15～
15日 日	原木きのご栽培にチャレンジ①～しいたけ～	仲 秀雄	13:30～	700	
20日 金	ハーブのある暮らし⑥～ハーブを使った料理の紹介と試食～	陳 美恵	13:30～	1,000	1/4～
2月3日 金	芝生を使った箱庭園芸(芝生キット持ち帰り)	木下 博	13:30～	600	1/15～
5日 日	明石公園の自然観察⑪(雨天決行)	兼光たか子	10:00～	100	
10日 金	バラの手入れ②～冬剪定～	山田 益男	13:30～	100	
26日 日	明石公園の野草を見る・楽しむ・学ぶ(冬)	高野 哲司	13:30～	100	2/1～
3月3日 金	家庭果樹の作り方②～ブルーベリー、イチジクそして接ぎ木～	荒木 斉	13:30～	100	2/15～
5日 日	明石公園の自然観察⑫(雨天決行)	兼光たか子	10:00～	100	
12日 日	原木きのご栽培にチャレンジ②～なめこ～	仲 秀雄	13:30～	700	
17日 金	早春を楽しむ寄せ植え	岡田ちづよ	13:30～	2,100	3/1～

■お申し込み・お問い合わせ■ 花と緑のまちづくりセンター / TEL:078-918-2405 \*お申し込み開始日、午前9時より先着順

★年末年始の園芸相談コーナーは、12月29日(木)より1月3日(火)まで、お休みしております。4日(水)より通常通り、相談受付けております。  
 \*園芸相談コーナー\* 10:00～12:00 13:00～16:00 火曜日を除く毎日 TEL:078-918-2405 FAX:078-919-5186  
 写真や実物をご持参いただきますと、お話ししやすくなります。

## 花と緑のまちづくりセンターだより 39号

- 平成29年1月1日発行(年4回発行)
- 編集発行 公益財団法人兵庫県園芸・公園協会花と緑のまちづくりセンター長 石原 憲一郎  
 〒673-0847 明石市明石公園1-27 花と緑のまちづくりセンター  
 TEL:078(918)2405 FAX:078(919)5186 Eメール:info\_midori@hyogopark.com